

令和元年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

歌壇

大下 一真 選

特選

空調を止めて虫の音聞かせをり酷暑乗り切り眠る老母に

千駄木 伊藤 惠津子

道ばたにさくらんぼ実り風清しハイデルベルグ川浴いの丘

小石川 須藤 敦子

泣き乍ら言い合いする子おろおろとそを宥める子蝸鳴いた

千駄木 上杉 紀世子

入選

「どうでもいい」「なんでもいい」の返答はもうやめとこう我も還暦

音 羽 黒坂 進

腰痛め歩みを杖に托す日々げに恐ろしき魔女の一撃

千 石 菊地 正矩

文京の百十三の坂みちを百日かけて上りきりたり

小石川 狩谷 求

カイザーの街に響いたローレライ独語日本語友好の声

大 塚 奥山 博子

啄木の歌がふつと過りたり矢ぐるまの花抱きてゆけば

本駒込 唐木 よし子

夏惜しみ秋を惜しみてものみなにありがとさんと言いつつ生きる

千駄木 石井 禮子

直向きな球児のプレー見るにつけ一瞬子供に還りたくなる

小日向 内野 仙也

令和元年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

地のことは案山子に問えよ昼の月

向丘 丸岡 正児

漱石と留守番もよし涼新た

小日向 花岡 敦子

秋雨や改札で母待ってるし

千駄木 山田 鈴女

入選

敗戦忌風に消されし声ありき

白山 井上 若葉

淋しさも一入深し虫の闇

小日向 内野 仙也

落鮎の眼に残る森の影

大塚 奥山 興悦

施錠音指に響くや鴟日和

千石 菊地 正矩

今日の日の新聞でくるむ秋風鈴

小石川 島村 若子

アンドロイド観音が説く文化の日

西片 中島 多津子

読み聞かせ欠伸こらえる夜長かな

駒込 横塚 敏子